発表日 平成23年12月16日

担当課：商工部新産業・技術振興課
直通：092－643－3448
内線：3736
担当者：入江、秋田

「福岡水素タウン」150世帯の省エネルギー効果等を公表します。（平成23年4月～平成23年9月分）

「福岡水素タウン」全体でCO_2を31t/6ヶ月、一次エネルギーを30万MJ/6ヶ月 削減！

福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議（※1）が「福岡水素戦略（Hy-Lifeプロジェクト）（※2）」の社会実証として実施する「福岡水素タウン」の平成23年4月から9月までの省エネルギー効果等を取りまとめましたのでお知らせします。

平成23年4月から9月の間の「福岡水素タウン」150世帯平均のCO_2削減量は、34．5kg／月／世帯で、半年間に「福岡水素タウン」全体で31t／6ヶ月あまりのCO_2を削減することができました。これは、杉の木の半年間のCO_2吸収量7kg／6ヶ月で換算すると、およそ4，400本分に相当します。また、一次エネルギーについては30万MJ（メガジュール）／6ヶ月（灯油8，260リットルに相当、※3）を節約することができました。

また、ご家庭で消費された電力の26．4％がエネファームによって供給されたことにより、九州電力（株）が示している消費電力削減目標5％を大きく上回りました（5．3倍）。

平成23年7月に実施したモニターの方を対象にしたアンケートでは、「環境にやさしいことをしていると感じる」、「エネファームのおかげで何もしなくても節電になっているのでよかった」などの回答がありました。

今後とも、家庭用燃料電池の更なる性能向上のための実証データ収集を引き続き行うとともに、平成23年11月9日にオープンした「スマートハウスin福岡水素タウン」を拠点に、「福岡水素タウン」の取り組みの成果を広く発信し、家庭用燃料電池の普及を支援していきます。

○ 150世帯の年間平均

項　目	平成23年4月～9月
発電時間	10．3 時間／日
平均発電量＊2	407 W／時間
電力供給率＊3 （電力需要）	26．5 ％ （475 kWh／月）
給湯供給率＊4	70．5 ％
CO_2削減量＊5	34．5 kg－CO_2／月
一次エネルギー削減量＊6	336．9 MJ／月

＊1 発電時間は、エネファームが電力供給を行った時間。
＊2 平均発電量は、エネファームが1時間あたりに発電した量
＊3 電力供給率は、各家庭の全電力需要のうち、エネファームから供給した電力の割合。
＊4 給湯供給率は、各家庭の全給湯需要のうち、エネファームとして供給した給湯の割合。
＊5 CO_2削減量は、エネファームを用いた場合と、従来のガス給湯器を用いた場合のCO_2発生量の比較。
＊6 一次エネルギー削減量は、エネファームを用いた場合と、従来のガス給湯器を用いた場合の消費エネルギー量の比較。

※1 福岡水素エネルギー戦略会議
水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織（平成16年8月発足）。平成23年12月1日現在、649企業・機関が会員として参加。
会長は、岩城 正和（いわき まさかず）新日本製鐵株式会社 代表取締役副社長。

※2 福岡水素戦略（Hy-Life プロジェクト）
水素エネルギー社会の実現を目指し、「研究開発」「社会実証」「水素人材育成」「世界最先端の水素情報拠点の構築」「水素エネルギー新産業の育成・集積」を総合的に推進するプロジェクト。

※3 灯油1リットルあたりの発熱量＝36．7MJで換算。（「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」別表第一））